

入札状況の常時監視報告書 (令和3年度)

(概要版)

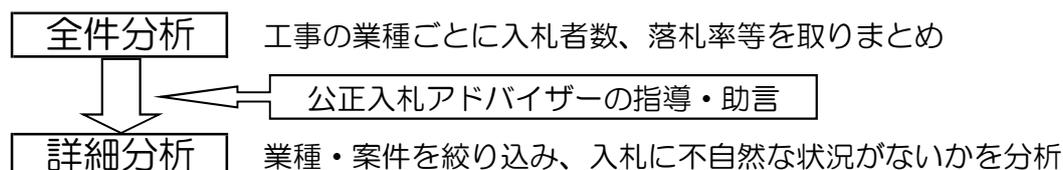
令和4年8月 名古屋市

1 入札状況の常時監視の概要 (2~5ページ)

(1) 目的

- ・ 談合等不正行為の早期発見と抑止
- ・ 監視結果の公表による本市の入札、契約手続の透明性・公正性の向上

(2) 内容



(3) 結果

入札状況の分析の結果、入札制度のより公正・公平な運用を目指し、電子入札システムの表示の変更や、入札時に提出を求める資料等の変更など、入札手続きの改善を行いました。

また、個別案件を抽出し、入札時に事業者が提出した積算内訳書の内容について確認を行いました。

2 入札状況の概要 (6~18ページ)

(1) 発注件数・落札金額

発注件数2,395件（31業種）のうち1,811件（約76%）が一般競争入札

区分	平均入札者数	平均落札率
一般競争入札	8.1者	90.9%
指名競争入札	3.9者	92.0%

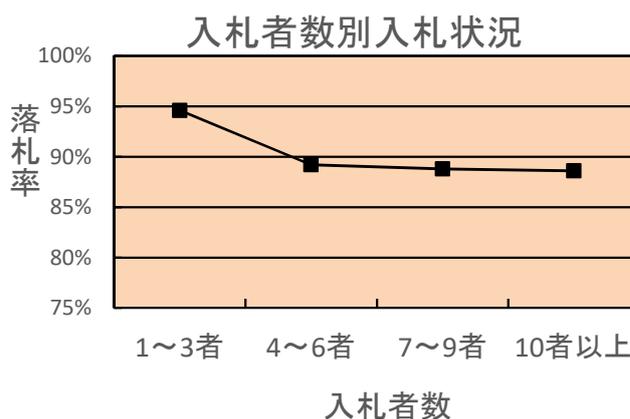
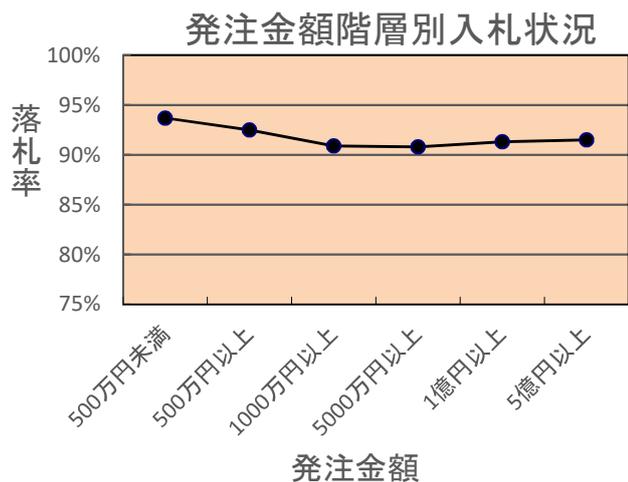
(2) 平均入札者数・平均落札率

①平均入札者数

- ・ 入札全体では、前年度と比べて0.6者多くなっている。
- ・ 前年度と同様、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて多くなっており、その差は拡大した。（前年度 3.7者 → 令和3年度 4.2者）

②平均落札率

- 入札全体では、前年度と比べて0.4ポイント低くなっている。
- 前年度と同様、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて低くなっており、その差は拡大した。
(前年度 0.7ポイント → 令和3年度 1.1ポイント)
- 発注金額階層別では、1,000万円未満の工事においてやや高い傾向が見られた。
- 前年度と同様、入札者数が多いほど低い傾向が見られる。



(3) 工事の内容に着目した特殊要因分析

入札者数や、落札率に影響を与えるような特殊要因（機械・電気設備工事、入札不調の発生状況、再入札工事）について分析したところ、特殊要因ごとに平均入札者数と平均落札率の傾向に差が見られた。